

## 目次

- 1 基盤整備等検討の進め方
- 2 東西通路・新改札整備に係る検討
  - (1) 東西通路整備の方向性について
  - (2) 東西通路の断面イメージ
- 3 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討
  - (1) 歩行者広場整備の基本的な考え方
  - (2) 歩行者広場の機能イメージ

# 1 基盤整備等検討の進め方

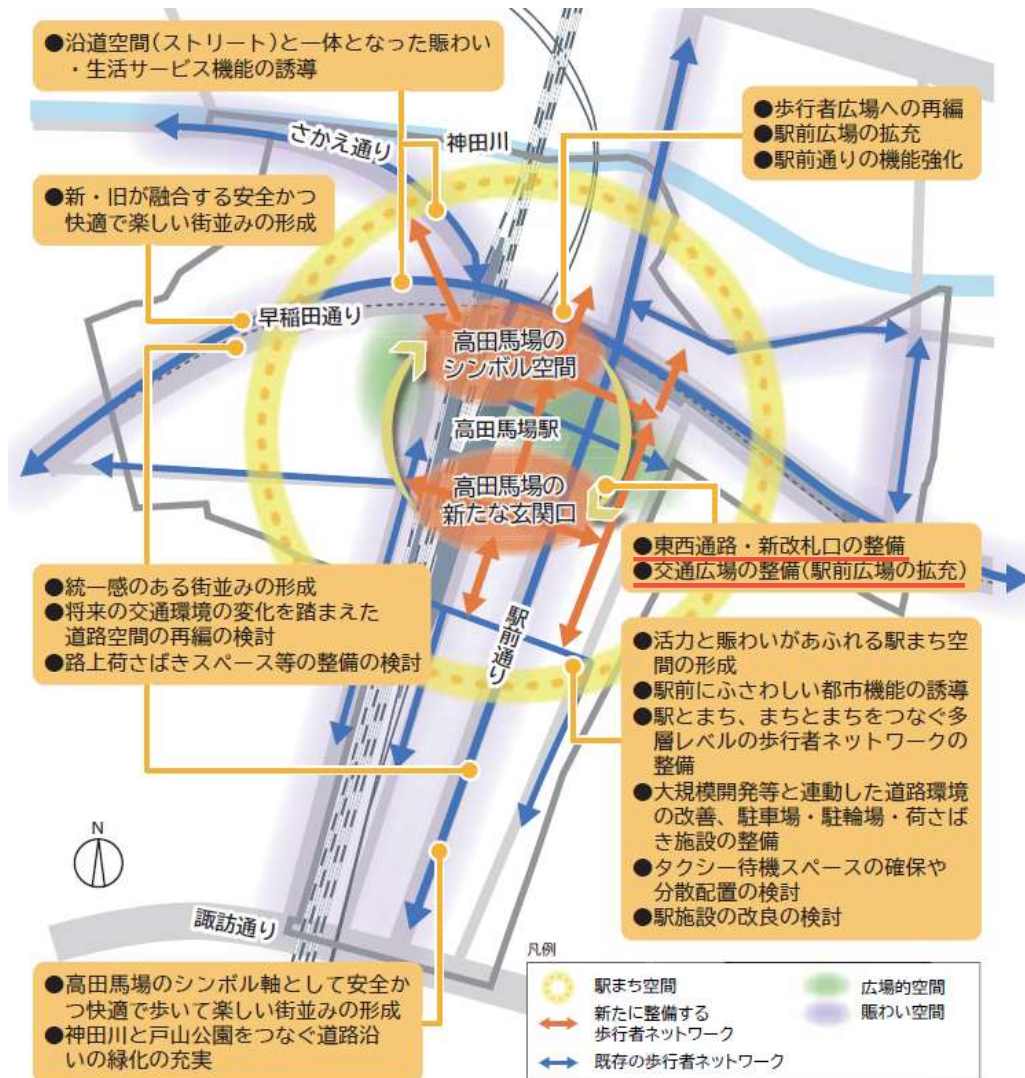


## 2 東西通路・新改札整備に係る検討

- (1) 東西通路整備の方向性について
- (2) 東西通路の断面イメージ

### (1) 東西通路整備の方向性について

- 高田馬場では、独自の地域特性を踏まえ **高田馬場の新たな玄関口にふさわしい空間づくりと、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの形成**を実現するために、十分な通行空間と滞留空間の確保が望ましい。



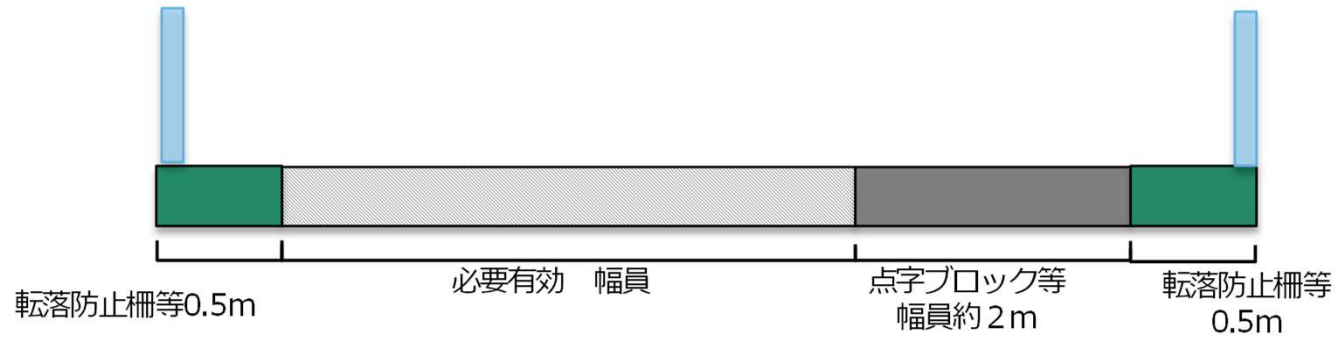
※今後、技術的な検討を行い、関係機関との協議・調整等を踏まえながらまちづくりを進めていきます。

## 2 東西通路整備に係る検討

### (2) 東西通路の断面イメージ

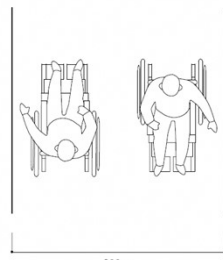
➤ 東西通路の断面イメージとして、歩行者交通量を踏まえた必要有効幅員のほか、バリアフリー通路、転落防止柵等を設置

東西通路の断面イメージ



【参考】車椅子利用者の通行幅員の考え方

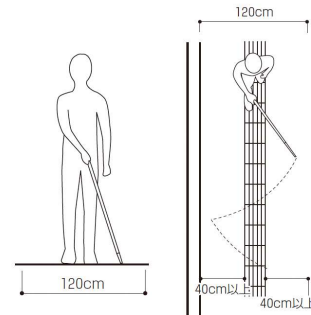
【図17.1】公共的通路の幅



200cm  
※車いす使用者同士が、よりすれ違いやすい幅

出典：「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」  
(平成31年（2019年）3月、東京都）

【参考】白杖者（杖使用者）の歩行幅員の考え方



出典：「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」  
(平成31年（2019年）3月、東京都）

【参考】二子玉川東地区（二子玉ライズ）歩行者ブリッジ1号



駅側より公園側を見た歩行者ブリッジ1号  
(両サイドに植栽帯あり)

・通路＋転落防止柵＋植栽帯等

### 3 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

- (1) 歩行者広場整備の基本的な考え方
- (2) 歩行者広場の機能イメージ



### 3 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

#### (1) 歩行者広場整備の基本的な考え方

#### まちづくり方針における歩行者広場（駅前広場東側）の考え方

##### 駅前広場の拡充・機能分担、交通結節拠点の形成

- 駅東側ゾーンに集中している駅前広場は、駅西側ゾーンに拡充及び機能分担します。快適な歩行環境を確保し、交通利便性の向上を図ります。また、駅北側ゾーンにおけるバス乗降場の適正配置を検討します。
- 駅、駅前広場、駅前拠点を円滑につなぐバリアフリーに配慮したネットワークを構築し、地域の交通結節拠点を形成します。
- 補助第72号線（駅前通り）を直進化し、歩行者と自動車の交錯の解消を図ります。
- バス、タクシー及び荷さばき、送迎などを目的とする車両については、必要な待機スペースの確保や分散配置等を検討します。

##### 高田馬場のシンボルとなる歩行者広場の整備

- 現在の駅前広場は、まちのシンボルとなる歩行者中心の広場として再編します。ゆとりある歩行者広場を形成することで、柔軟な利活用（お祭りイベントや働く場所、休憩スペースなど）に対応し、まちの更なる賑わい創出を図ります。

##### 高田馬場の新たな玄関口となる交通広場等の整備

- 地域交通の起点となる交通広場は大規模開発等と連動して駅東側ゾーンに配置します。
- 東西通路・新改札口整備と大規模開発等が連携することにより、駅から交通広場への歩行者ネットワーク沿いに歩行者の滞留空間、賑わい施設などを配置し、高田馬場の新たな玄関口を整備します。

#### ■ 駅前広場機能のエリア分担イメージ

##### 駅東側ゾーン

- 現在の駅前広場は「高田馬場のシンボル空間」となる人中心の歩行者広場として再編
- 地域交通の起点となる交通広場（バス、タクシー、一般車の乗降場）を整備し、新たな人の流れと賑わいを創出する「高田馬場の新たな玄関口」を整備

##### 駅西側ゾーン

- 早稲田口付近に駅から人の流れを受け止める歩行者滞留空間と、タクシー、一般車の乗降場を備えた駅前広場を整備





### 3 駅前広場整備（歩行者広場）に係る検討

#### (2) 歩行者広場の機能イメージ

参考資料の4事例から得られた内容を整理し、歩行者広場に適応させると以下の4機能が考えられる

- 歩行者広場を用いた店舗の常設やイベントの開催
- 地上、地下空間それぞれの空間特性を踏まえた利活用
- 車道の占用も視野に入れた、歩行者広場との一体的な利活用
- 「移動」だけではなく、「憩い」などの機能を備えた空間の整備

【まちのシンボル空間】

歩行者広場

①オープンカフェの常設やイベントの開催が可能な広場空間の整備

～憩い、賑わい、多様な活動を受け入れる空間～

地上と地下を一体化する縦動線

～駅前通り直進化～

③駅前通りと一体的な歩行者広場での賑わい創出

～店舗が面し賑わいがにじみ出す沿道空間～

④移動だけではなく、憩いなどの機能を備えた空間の整備

地下ネットワーク

②地上、地下空間それぞれの空間特性を踏まえた利活用

～歩行者の安全を確保し、地下鉄駅とスムーズにつながる縦動線及び地下通路～

